

公益社団法人日本リハビリテーション医学会
平成27年度 第6回理事会 議事録

日 時 平成28年1月23日(土) 12時00分～16時00分
場 所 都市センターホテル スバル
構成員 理事20名、監事3名
出席者 理事長 水間正澄
副理事長 安保雅博 才藤栄一 出江紳一
理 事 浅見豊子 上月正博 久保俊一 近藤和泉
佐浦隆一 志波直人 白倉賢二 千田益生
帖佐悦男 椿原彰夫 道免和久 芳賀信彦
正門由久
監 事 朝貝芳美 木村彰男 田島文博
欠席者 理 事 石川 誠 島田洋一 菅本一臣
陪席者 第52回学術集会会長 里宇明元
第53回学術集会幹事 池田 巧
事務局幹事 川手信行
専門医会幹事長 大串 幹

議 題

I 報 告

(1) 業務執行理事会報告

水間理事長から平成27年度第6業務執行理事会(Web会議)の報告があった。

(2) 会員現況報告

水間理事長から会員現況の報告があった。

(3) 選挙管理委員会報告

芳賀理事から代議員選挙が告示され現在投票が行われている旨の報告があった。

(4) 内閣府立入検査検査について

水間理事長及び事務局長から、12月24日に行われた内閣府立入検査結果について、何項目か指摘があったが書面での照会や改善報告は求められていない旨の報告があった。

(5) 寄附金受入れ状況報告(12月分)

安保副理事長から、学会誌に挟み込んだ寄附金振込依頼書を使った会員からの12月分寄附金受入れ状況について報告があった。

(6) その他

①全国リハビリテーション医療関連団体協議会

水間理事長から第7回会長会議の報告があった。

②大規模災害リハビリテーション関連団体協議会（JRAT）

佐浦理事から第 31 回 JRAT 戦略会議の報告があった。

Ⅱ 重要審議事項

（１）平成 28 年度事業計画案について

才藤副理事長から、平成 28 年度事業計画案について説明があった。審議の結果何項目か修正を行い、さらに修正等の意見がある場合は、1 月末までに事務局長宛に連絡することとした。この事業計画案は次回理事会で審議決定し、3 月末日までに内閣府に報告する旨の補足があった。

（２）平成 27 年度収支決算見込み及び平成 28 年度予算案について

安保副理事長から平成 28 年度第一次予算案について説明があり、審議の結果了承された。なお、さらに見直しが必要であれば 2 月 5 日までに事務局長宛に申し出てもらうこととした。この予算案は次回理事会で審議決定し、3 月末日までに内閣府に報告する旨の補足があった。

引き続き平成 27 年度収支決算見込みについて説明があり、了承された。

また負担金のうち、JARD 協議会負担金をゼロとし、計上した 50 万円をデータマネジメント委員会の事業費に計上することとした。負担金については、今後増減する可能性がある旨水間理事長から補足があり、了承された。

（３）新専門医制度について

芳賀理事から新専門医制度に関する現時点での検討状況等についてそれぞれ説明があり、審議が行われた。

①日本専門医機構基本領域研修委員会委員の増員について

専門研修プログラムの第 1 次審査に向けて 2 名増員を要望したが、機構から研修プログラム数が 100 以下の場合は 1 名しか認めないとの連絡があったため、委員のうち椿原先生に下りていただき、中村建、船越正範、和田恵美子、武原格、岡崎英人、新藤恵一郎の各先生方に入っていただきたい旨の説明があり、了承された。

②研修プログラム一次審査のポイントについて

機構から研修プログラムの一次審査ポイントが示され、募集定員についての考え方の説明があった。これによるとリハ医学会では 125 名程度の募集総定員となってしまうことから、150 名程度は確保したい旨の説明があり、審議の結果、165 名程度は確保すべきではないかとの意見が出され、専門医制度委員会で検討することとした。

③更新基準における教育講演、領域別講習の取扱い

領域更新基準において「基本領域は認定更新の要件として、学会が主催及び指定する教育講演や領域別講習を 5 年間のうち少なくとも 1 回は受講することを求めることができる」という文言を加えるとの連絡が機構からあったこと及び「指導医講習会をリハ科領域の認定更新要件に含

めることができる」ことの確認が取れた旨説明があった。これに対して、学術集会の参加は単位にできるが義務にはできないことが確認され、認定更新要件として指導医講習会を含めて「学術集会における教育講演」としてまとめることを専門医制度委員会で検討することとした。

④指導医講習会に関する内規等の改正整備について

正門理事から、指導医講習会を機構の基準に従って開催していくための所要の改正案及び医療安全・医療倫理・感染対策等の教育研修に関する内規案の説明があり、審議の結果承認され、会則検討委員会に附議することとした。

Ⅲ 審議事項

(1) 第52回学術集会の収支決算報告について

里字第52回学術集会会長から、第52回学術集会収支決算について説明があった。学術集会は3,249名の参加であり、リハ医学会本体へは約2,000千円の貢献となった。審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 第53回学術集会準備状況について

久保第53回学術集会会長及び池田幹事から、第53回学術集会の準備状況について説明があり、了承された。なお講演リストについては、日本専門医機構から領域別講習として審査を受ける必要があることから、この理事会で承認されれば2月15日までに機構に申請する旨説明があり、了承された。

(3) 平成28年度代議員総会等の日程案について

水間理事長から、6月8日に開催される代議員総会当日の会議日程の再調整結果について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(4) 平成28年度前期各種委員会委員の委嘱・退任について

水間理事長から、平成28年度前期各種委員会委員の委嘱・退任の推薦を求める旨説明があり、了承された。申請期限は2月29日（月）とし、おって事務局から依頼文書を発送する旨補足があった。

(5) 定款施行細則の改正について

水間理事長の指名により事務局長から、定款施行細則の改正について次のとおり説明があった。今回の改正は、内閣府立入検査で「年会費等」の決定機関については理事会ではなく定款に基づき代議員総会とすべきと指摘されたことに伴う所要の改正、代議員選挙に関する規則改正及び同内規が廃止されたことに伴う条文の改正、学術集会会長任期の規定の改正などである。審議の結果、学術集会会長任期の改正については、秋季学術集会が立ち上がると現時点での表現では任期が分かりにくくなることから修正することとし、あとは現案のとおり承認された。修正は理事長に一任され、会則検討委員会に附議することとした。

(6) 各種委員会の業務分担に関する規則の改正について

水間理事長の指名により事務局長から、各種委員会の業務分担に関する規則の改正について次のとおり説明があった。今回の改正は、システム委員会を特別委員会から総務部に移動したことに伴う所要の改正である。審議の結果、原案のとおり承認され会則検討委員会に附議することとした。

(7) ISPRM2019 実行委員会について

才藤副理事長から Local Committee2019 の試案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。また、ISPRM 役員関連で、National Societies Representative に道免理事が立候補されている旨説明があり、了承された。

(8) 学術集会のあり方検討委員会について

水間理事長から、午前中に開催された学術集会のあり方検討委員会に関して、学術集会時の取得可能単位数に関して、春・秋とも最大 12 単位を取得できるように併せていきたいとの議論があった旨説明があり、了承された。

(9) 全国医学部リハビリテーション科連絡会について

水間理事長から、11 月 28 日に開催された準備会の状況及び連絡会構成員について報告があった。また、改めて行うリハビリテーション科調査の案について説明があり、意見交換が行われた。この調査については改めて理事に修正案を示し、意見をもらうこととした。

(10) 海外研修特別助成対象者案について

佐浦理事から平成 27 年度特別海外研修助成候補者について説明があり、審議の結果、原案のとおり西田大輔先生、向野雅彦先生、角田哲也先生、内山侑紀先生に助成することを決定した。

(11) 試験委員会特別委員の追加について

白倉理事から、試験委員会特別委員について 1 名追加し、受験者数が 108 人と例年並みだったことから全体で特別委員を 82 名とするものの説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(12) 臨床試験医師養成協議会への理事推薦について

水間理事長から、臨床試験医師養成協議会から理事推薦の要請があったが、新専門医制度にも絡むことでありリハ医学会から推薦を行いたい旨説明があり、了承された。なお人選は理事長に一任された。

(13) 平成 28 年度がんのリハビリテーション研修運営委員選出依頼について

(14) 平成 28 年度リンパ浮腫研修運営委員選出依頼について

水間理事長から議題 (13) (14) について、がんのリハ研修会、リンパ浮腫研修会ともこれまで社会保険等委員会に人選を一任してきたが、同委員会の委員交代とも関連するので、理事長と社会保険等委員会担当理事に人選を一任していただきたい旨説明があり、了承された。

(15) 第 11 回専門医会学術集会収支予算案について

大串専門医会幹事長から第 11 回専門医会学術集会収支予算案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(16) 専門医会研究補助金対象者案について

大串専門医会幹事長から平成 27 年度専門医会研究補助金の審査結果について説明があり、審議の結果、原案のとおり西田大輔先生を対象者と決定した。

(17) 専門医会がん SIG の新設について

大串専門医会幹事長から専門医会がん SIG 新設について説明があり、審議の結果、原案のとおり新設が承認された。

(18) 英文誌投稿規定案について

道免理事から英文誌投稿規程案について説明があり、意見があれば 2 月末までに編集委員会に申し出てもらうこととした。

(19) 和文誌投稿規定改正案について

道免理事から和文誌の投稿並びに執筆に関する申し合わせ改正案について説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

(20) 英文誌の編集体制について

道免理事から英文誌の暫定編集体制案について説明があり、審議の結果原案のとおり承認された。

(21) (会則検討委員会) 物品調達に関する内規案について

上月理事から、会則検討委員会における物品調達に関する内規改正案の検討内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(22) 医師以外の正会員の入会について

上月理事から医師以外の正会員の入会について説明があり、審議の結果、米田昌弘先生の入会が承認された。

(23) 会員の入退会について

才藤副理事長から入退会者の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(24) 社会保険等委員会関係

欠席の石川理事に代わって水間理事長から平成 28 年度診療報酬改定に係るこれまでの議論について説明があり、了承された。

(25) 資格認定委員会関係

①指導医の新規認定について

浅見理事から指導医の新規認定について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(26) 施設認定委員会関係

①研修施設の資格喪失について

椿原理事から研修施設の資格喪失について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

②研修施設の新規認定について

椿原理事から、研修施設の新規認定について説明があり、審議の結果、宮崎市立田野病院については、4月にOTが配置された後改めて申請してもらうこととし、あとは原案のとおり承認された。

(27) 1-f 新規関連学会の申請について

正門理事から、日本ニューロリハビリテーション学会からの関連学会申請について次のような説明があった。関連学会はその要件として1,000人以上の規模であることが求められているが、前例に基づき関連学会として認めていただきたい。審議の結果、原案のとおり承認された。

(28) 関連学会における審査基準の見直しについて

正門理事から、関連学会(1-f)の審査基準についてはこれまで認定委員会が内規を定めていたが、教育委員会において現行の内規を実態に則したものとなるよう見直し理事会に諮りたい旨の説明があり、審議の結果了承された。

(29) 2-f (初回) 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から1件の生涯教育単位の申請について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(30) 平成28年度病態別リハ医学研修会について

正門理事から平成28年度病態別実践リハビリテーション医学研修会の開催計画について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(31) 平成28年度一般医家に役立つリハ医療研修会について

正門理事から、平成28年度一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会(北海道)の開催計画について説明があったが、詳細が未定であることから、改めて詳細を詰めて理事会に提案することとした。

(32) 平成28年度臨床研修医等医師向けリハ研修会について

正門理事から、平成28年度臨床研修医等医師向けリハビリテーション研修会の開催計画について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、この研修会を受けたのちにリハ医局への入局率が上がっているか調べ、近畿地区での開催も検討すべきではないかとの意見が出された。

(33) その他

①後援・協賛について

才藤副理事長から後援・協賛について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

②医療事故調査・支援センターから関連学会への依頼について

水間理事長から、医療事故調査制度が施行されたことに伴い、医療事故調査・支援センターに指定された日本医療安全調査機構から協力学会に対して各地区の個別調査部会に対する推薦担当者の選任と機構と学会との業務に関する覚書の締結を求められているので、各地区の推薦担当者は地方会連絡協議会に推薦を依頼し、覚え書きは依頼とおり締結する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

③コメディカル用語の取扱いについて

水間理事長から、前回理事会で「コメディカル」の用語について若干の議論があったことから改めてその取扱いを検討したい旨説明があり、再度全国医学部長病院長会議での議論の内容を調査して検討することとした。

④ICF シンポジウムについて

出江副理事長から、厚生労働省統計情報部長から第5回 ICF シンポジウムに本医学会が協力団体となるよう依頼があり、日程の関係で業務執行理事会で承認し理事会で事後承認をいただくことにした旨説明があり、承認された。併せて、シンポジウムの内容について説明があった。

⑤AMED における研究の実施について

近藤理事から、AMED 研究費による2件の研究の申請が来ていることについて説明があり、審議の結果、本医学会のアンケートシステムを利用しての調査であれば、個人情報取扱いなどを調べることを、研究倫理審査会への申請を行うことを条件に承認された。

⑥日本栄養療法協議会への参加について

水間理事長から、日本栄養療法士協議会から協議会への参加及び幹事の推薦を依頼されている旨の説明があり、審議の結果、参加を承認し、幹事は田島監事を推薦することとした。

⑦事務局体制について

水間理事長から、事務局員の定年退職及び辞職にともなう後任体制について検討を行っており、次回理事会には新たな体制について報告する旨説明があり、了承された。

IV 報告事項

(1) 各種委員会報告

平成27年11月27日から平成28年1月22日に開催された以下の委員会について、担当理事から報告があった。

①編集委員会	道免理事
②評価・用語委員会	志波理事
③教育委員会	正門理事
④資格認定委員会	浅見理事
⑤施設認定委員会	椿原理事
⑥試験委員会	芳賀理事
⑦診療ガイドライン委員会	近藤理事
⑧関連機器委員会	水間理事長（代）
⑨関連専門職委員会	帖佐理事
⑩広報委員会	千田理事

なお、千田理事から席上配布資料に基づき、リハ医学ガイドのリニュー

ーアル版について報告があった。

⑪国際委員会 佐浦理事

(2) 学会誌のリニューアルについて

道免理事から、平成28年1月号から和文学会誌がリニューアルされた旨報告があった。また、1月号以降の広告掲載申し込み状況について説明があり、2月号以降の広告がほとんど確定していないので、各理事に改めて広告募集を積極的に行っていただきたい旨要請があった。

(3) 専門医会報告

大串専門医会幹事長から、専門医会幹事会、専門医会総会、PPSSIG の報告があった。

(4) RJN 報告

浅見理事から、RJN 世話人会、特別世話人の新任、RJN 世話人会企画、達人の流儀広告募集、大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会などの報告があった。

(5) 生涯教育申請項目及び講演時間の変更について

正門理事から、新専門医制度に関わる生涯教育研修単位付与申請に対する取扱いについて、変更を行い関係方面への通知を行った旨報告があった。

(6) 2-e、2-f (2回目)、2-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

正門理事から 2-e、2-f (2回目)、2-g 項目による生涯教育研修単位の申請に対する審議結果について報告があった。

(7) その他

①第90回日本整形外科学会学術総会プログラムアンケートについて

出江副理事長から第90回日本整形外科学会学術総会プログラムアンケートに関する依頼について報告があった。

②平成27年度運動器の10年・日本賞審査結果について

出江副理事長から報告があった。

③2016年度GSK医学教育事業助成について

水間理事長から、GSK が学会で行う医学教育事業への助成を行うことになり、リハ医学会としても申請を検討したい旨報告があった。

以上